

# 図書館通信

令和2年3月号  
磯松中学校図書館



春になると、学校は出会いと別れの場であることを感じます。この1年磯松中学校図書館を利用して下さり、ありがとうございました。今は健康第一ですね。笑うと免疫力がアップするそうです。「笑う門には福来る」、すてきな本との出会いもありますように。

## 今年度貸出冊数トップ6 (H31.4月~R2.2月まで)

今年度の学年別貸出冊数トップ6の発表をします。  
読書はとてもプライベートなものですから、必ず発表や表彰の前に公表してもよいか聞きますので、どうぞこれからも安心して借りて下さいね。

学年全体では、1年生 3413冊、2年生 2659冊、3年生 2671冊、全校計 8743冊です。  
1人当たりの貸出冊数は23.8冊でした。(磯松中学校図書館貸出 H31.2.18 現在)  
これからも本との出会いがたくさんあるようサポートします。

	1年	2年	3年
1	1-4 龐 さん 230冊	匿名希望 207冊	3-2 濱村 くん 439冊
2	匿名希望 213冊	2-3 山内 くん 177冊	3-3 山中 くん 395冊
3	匿名希望 208冊	2-2 大窪 くん 167冊	3-2 小野田くん 106冊
4	1-4 前田 さん 108冊	2-2 大野 さん 132冊	3-1 中島 くん 76冊
5	1-4 脇 さん 107冊	匿名希望 112冊	3-1 五反田くん 70冊
6	1-1 平賀 さん 96冊	2-1 平生 さん 105冊	匿名希望 62冊

## 3年生のみなさん 卒業おめでとうございます

3年間図書館を利用してくれて、ありがとうございました。図書館を活用した授業では、個々に自分のテーマを設定し、完成したレポートや本の紹介POPを図書館で展示する機会の多い学年でした。そして、その単元の学習が終わってからも、利用した本を何度も借りに来る生徒が多かったことが印象に残っています。保護者のみなさまも展示をご覧に図書館へ足をお運びくださり、ありがとうございました。

今、期待や不安でいっぱいだと思います。これからの長い人生の中で、「本」もきっとあなたを助けてくれますよ。そんなときは、ぜひ通学先や通勤先の近くにある図書館に足を運んでみて下さい。お金はいりません。図書館カードがなくても館内で本や雑誌が読めますよ。インターネットで調べものをしたり、DVDを視聴したりできます。その図書館の利用マナーを守れば、一日中いても誰も何も言いません。カウンターでこんなことについて調べたいと相談することもできます。いろいろ聞かれますが、より役立つ本を手渡すために聞いているので安心して下さい。進学する人は、入学した学校の図書館にもぜひ行ってみてくださいね。



いよいよこの学び舎を去り、新たな門出を迎えます。さあ、その橋を渡って扉をあげよう！

## 新コーナー” my country my hometown”

今はここに住んでいるけれど、以前は「こんな国に住んでいた」「こんな町で育った」…という人もいます。そんな国や町を紹介するコーナーです。その人の母国や育った町には、“私のヒストリー”がそこにあります。そこに思いをはせてみませんか？「自分もやってみたい」「この町に住んでいたいんだよ」などなど、リクエストも大歓迎です。



第1回目は、Nくんが担当してくれました。中学校や食べ物について母国語と勉強中の日本語の両方で、紹介ポスターを作ってくれました。クイズもありますよ。ぜひ見に来てくださいね。

(東広島市や広島県についての本は、「郷土資料」コーナーに並んでいますよ！)

## 今月の展示

今回は、図書館通信上での展示です。

臨時休校が終わったら、ぜひ図書館で本を手にとってみてくださいね。

### □ 今月の作家 ルイス・サッカー



933サ

『泥』

ルイス・サッカー著 千葉茂樹訳 小

学館

立ち入り禁止の森で、なにか恐ろしいことが起こる予感がする…。環境問題を背景に、バイオテクノロジーが生んだモンスターの恐怖を、ミステリータッチのスリラーとして描いた、コメディ要素をふくむ作品。(TRCMARC より抜粋)



### □ 絵本週間 3/27~4/9

3月27日から絵本週間が始まります。童話作家アンデルセン誕生日である4月2日をはさんだ前後の2週間がそうです。ほんのひとつき、素敵な絵本とともにすごしませんか。もしおうちに絵本があったら、久しぶりに開いてみませんか。

㊤『ゆきむすめ ロシアの昔話』 内田莉莎子再話 佐藤忠良画 福音館書店



ロシアの昔話。冬から春になる季節にこの絵本はいかがですか。絵を描いた佐藤忠良さんは彫刻家です。みなさんがよく知っている『おおきなかぶ』の絵も佐藤さんの作品です。いずれも読み継がれている絵本ですが、長く人をひきつける魅力のある絵の秘密は何なのかじっくり味わってみてください。

### □ 3.11 東日本大震災から9年



369ジ 『16歳の語り部』

雁部那由多, 津田穂乃果, 相澤朱音共著 ポプラ社

僕らは東日本大震災の被災者だ。でも、「被災者」をひとくくりにはできない。同じ地域に住んでいても、被害は人それぞれだから……。心の中にあるものに蓋をしてきたけれど、僕たちは小5の時に目撃したもの、感じたことを5年経った16歳の今、話している。自分にしか表現できない言葉で、子どもがああ震災をどう受け止め、何を考えてきたのかを伝えておきたい。



585 『紙つなげ！彼らが本の紙を造っている』

再生・日本製紙石巻工場 佐々涼子著 早川書房

宮城県にある日本製紙石巻工場では、『永遠のゼロ』や『ONE PIECE』をはじめとする人気本の紙を作っていた。2011年3月11日、世界屈指の製紙規模を誇るこの工場が、未曾有の大災害に遭遇した。この本は、壊滅的被害を受けた製紙工場が、そこで働く人々の想像を絶する努力と情熱や地域の人々の支えによって、奇跡のように復活する過程を記録したノンフィクションである。